

事業所名

ドクターシロクマの重症心身障がい児デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

4日

法人（事業所）理念		医療と福祉の連携を最大限に安心・安全を一番大切に。						
支援方針		お子さまの成長に合わせて柔軟な療育プログラムを実施。福祉だけでなく、医療の観点も存分に取り入れ、お子さまをサポートします。医療と連携し、安心・安全を一番大切にしながらも、数年後、お子さまにとって財産となるような療育を提供いたします。						
営業時間		10時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>(1) 毎日の検温・手指消毒を実施し、ひとりひとりの健康状態を把握していきます。</p> <p>(2) 健康な心身を育み、健康で安全な日常生活を営めるように支援を行います。健康状態の定期的なバイタルチェックなど、必要な対応を行う際には、意思表示が難しい子どもの障害特性や発達過程とその特性を考慮し、小さなサインからでも心身の変調に気づけるよう、細やかに観察を行います。また、医療的ケアを必要とする子どもが安全に過ごせるように、日々の確認を行いながら、医療的ケアを実施していきます。</p> <p>(3) 健康増進、食事、排せつ、睡眠など、基本的な生活リズムを身につけられるよう支援していきます。</p> <p>また、食事形態や口腔機能、感覚などに配慮しながら、楽しく食事ができる環境を整えます。さらに、病気の予防や安全にも配慮していきます。</p> <p>(4) 個別リハビリを通して、日常生活機能や社会生活を充実させるために、それぞれの子どもに適した練習を行います。</p> <p>(5) 子どもの身体機能に応じて、身の回り動作や食事、衣服の着脱、排せつなどの基本的な生活技能の獲得を支援していきます。</p>						
	運動・感覚	<p>1) 個別リハビリや療育を通して、粗大運動・巧緻運動の双方を支援できる体制・環境を整えていきます。</p> <p>(2) 食事や排せつ、更衣など、生活動作を繰り返して行い、日常生活での定着を図ります。また、運動機会を提供し、筋力の維持・強化に努めます。</p> <p>(3) 感覚遊びなどの活動を通じ、感覚に認知形成を育みます。</p> <p>(4) 姿勢の保持や運動・動作が難しい場合には、子どもの特性に応じて補助用具や姿勢保持装置、姿勢介助などを活用し、姿勢保持や運動・動作の能力を支援します。</p> <p>(5) 自力での床での移動や歩行（介助歩行）など、日常生活に必要な移動能力の向上を支援します。</p> <p>(6) 視覚、聴覚、触覚などの体性感覚を十分に活用しながら、嗅覚なども用いて、様々な感覚を楽しめるよう支援します。</p> <p>(7) 子どもそれぞれの感覚や認知の特性を考慮し、環境調整などの支援を行い、感覚の幅を引き出せるよう支援します。</p>						
	認知・行動	<p>(1) 必要な子どもには、当日のスケジュールなど、視覚で分かるように提示し、概念の習得を支援します。</p> <p>(2) 視覚、聴覚、触覚などの体性感覚を活用して、必要な情報を収集し、認知機能の発達を支援します。歌遊びなどを取り入れ、聴覚を活用する発達を支援します。</p> <p>(3) 物の機能や特性、形、色、音が変化する様子、空間・時間などの概念形成を通じて、認知や行動の幅を広げていくよう支援します。</p> <p>(4) 認知の特性を踏まえ、情報処理や認知の偏りに対処し、個々の子どもの特性に合った支援を行います。</p> <p>(5) 感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。</p>						
	言語 コミュニケーション	<p>(1) 簡単なあいさつや会話など、コミュニケーションが行えるよう支援します。</p> <p>(2) 具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付けた会話をを行い、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進するよう支援します。</p> <p>(3) 文字・記号や写真などを用いて、相手に意図を伝えたり、逆に相手の意図を理解したりする能力を支援します。</p> <p>(4) 個々に合わせた状況での相互作用を通じて、共同注意などのコミュニケーション能力の向上を支援します。</p> <p>(5) 指差しや身振り、サインなどを活用して、環境の理解や意思の伝達を支援します。</p> <p>(6) 写真や絵カードなどのコミュニケーション手段を適切に活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。</p> <p>(7) 障害の特性に応じて、読み書き能力の向上を支援します。</p>						
	人間関係 社会性	<p>(1) 人との遊びや協同での遊びの活動を通じ、自己理解・他者への興味を養うよう支援します。</p> <p>(2) 人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。（アタッチメントの形成）</p> <p>(3) 遊びを通じて模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。</p> <p>(4) 感覚遊びを通じて社会性の発達を支援します。</p> <p>(5) 一人遊びから協同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。</p> <p>(6) 自己の行動や感情を理解し、コントロールできるよう支援します。</p>						
家族支援	子育てへの段階的でない支援を行います。子育てに前向きな気持ちで向き合える方法やプログラム、家族の精神面でのケアを行います。障がい特性への関わり方など、寄り添ったケアや助言をご提案します。	移行支援		就学前面談を事業所内もしくは自宅にて開催し、就学児に児童が可能性を最大限に発揮できる本人、保護者のニーズを可能な限り尊重し、情報共有と指導・助言を行います。				
地域支援・地域連携	子どもが通うリハビリ施設へ見学、訪問リハビリを受けている場合は自宅へ見学に伺い連携を図ります。子どもが通う、幼稚園や保育所等に見学に伺い連携を図り、必要がある場合は専門職による助言を行います。	職員の質の向上		重症心身障がい児等に対する医療的ケア研修（基礎編）履修済 事業所内勉強会（月1回開催）、他事業所との交換研修 感染症研修（年2回開催）、AED使用方法講習会、防犯研修				
主な行事等	お花見、水遊び、夏祭り、運動会、芋ほり、ハロウィン、クリスマス会、書初め、初詣、豆まき、遠足（外出）、お散歩、創作活動							